

# YMCA

## 年末募金

こども 若者 国際協力



皆様からの募金は様々な活動に使われます

### こどもたちの支援

公益財団法人熊本YMCAは、ひとり親世帯や、特別児童扶養手当受給世帯等、YMCAのプログラムに、経済的理由により参加できない子どもたちに対して、費用の一部を減免するBAPY基金を設けています。

※BAPY: BE A PARTNER OF THE YOUTHの略



社会福祉法人 聖嬰会  
 児童養護施設  
 熊本天使園 職員

山平 和史 さん

現在、天使園から7名の子どもたちがBAPY基金を利用してYMCAの水泳教室や体操教室に通っています。子どもたちは「〇〇ができるようになったよ」「明日、ワッペンテストだけん見に来て」とYMCAのことを笑顔で伝えてくれます。YMCAでの経験は自信や自己肯定感につながり、園を出た時にもきっと役立ちます。たくさんの優しさや思いやりによって、YMCAに通えるのだということを感じながら、思いやりのある大人に成長してほしいです。

### 若者・ユースの支援

専門教育、キャリア教育、人間教育を教育方針に掲げる熊本YMCA学院専門学校では、経済的理由により進学が困難な学生に対し、学費の一部を減免しています。

また、日本で学ぶ留学生の進学支援も行っています。



熊本YMCA学院  
 こども保育科2年生  
 副島 斗希 さん

幼い頃に児童養護施設で生活していた私にとって、施設の先生方は「家族」のような存在でした。その姿を見て、子どもたちに安心できる居場所をつくることができる人になりたいと思い、保育士を目指すようになりました。進学にあたり経済的な課題を感じる中で出会ったのが、YMCA学院の奨学生制度です。支えてくださる方々の思いがあるからこそ、私は勉強を続けることができます。この感謝を子どもたちや周りの人に返していけるよう努力していきたいと思っています。

### 国際協力・交流

日本のYMCAは世界に広がるYMCAのネットワークを通じて、困難の中にある人々の支援をしています。カンボジアではカンボジアYMCAによる、ストリートチルドレンへの教育や福祉の提供、女性や子どもの安全な居場所づくりなどに募金が用いられています。



カンボジアYMCA総主事  
 ニマイ リン さん

カンボジアYMCAに寄せられた皆様の優しさ、思いやり、支援は、私たちのかけがえのない力の源となってきました。言葉であれ、行動であれ、贈り物であれ、皆様の支援は常に「私たちは一人ではない」と気づかせてくれます。皆様一人ひとりの力が、カンボジアの子どもたち、若者たち、そしてコミュニティの明るい未来を形づくる上で、とても重要な役割を果たしています。皆様に感謝申し上げます。

2面に続く

## Pickup

### 運動会特集

ぶどうの木体育英語幼児園



尾ヶ石保育園

水前寺幼稚園



## 募金のご協力をよろしくお願いします。

### 熊本YMCAの活動



盲学校の児童、生徒を対象としたポニーキャンプ



ユースリーダーを各種研修等に派遣(写真は2024年11月の日本YMCA大会)



子どもたちのいのちを守り育むウォーターセーフティキャンペーン

### 日本・世界のYMCAの活動



日本に避難したウクライナの人々への支援活動



カンボジアの子どもたちを支援



ミャンマー地震支援

#### 1 持参

お近くのYMCAセンター受付にお持ちください。



#### 2 クレジットカード・お振込み

熊本YMCA Webページからクレジットカード決済が可能です。  
その他、郵便振替や銀行振込で受け付けています。詳しくはWebページをご覧ください。

#### 3 募金箱の設置

募金箱を設置していただけるお店などがありましたらお知らせください。



#### 4 行事への参加

各センターで開催するクリスマス祝会やチャリティプログラムに参加することで、年末募金に協力することができます。



### 募金の方法

#### 5 街頭募金

今年も、各地で街頭募金活動を実施します。

##### 2025年度街頭募金予定

(詳細はWebページでお知らせします)

##### 阿蘇市 11月29日(土)

- スーパーマーケット みやはら内牧店
- 道の駅阿蘇
- ホームワイド阿蘇店
- えびすぱーな

##### 熊本市、その他 12月7日(日)

- 上通アーケード
- 下通アーケード
- ゆめタウン大牟田
- ゆめタウンサンピアン
- サンロードシティ熊本
- ゆめタウン光の森
- 熊本市動植物園
- ザ・ファクトリーニシムタ 熊本合志店

## YMCA年末募金

【期間】2025年11月1日～2026年1月31日  
募金方法・詳細はWebサイトでご確認ください。

熊本YMCA 年末募金



### 熊本YMCA 総主事 伊藤 眞太郎

## マナ

Vol. 7

#### 予定は、魚釣り

みなさんは日々の生活の中で、ふと心に残った場面を誰かに話したい——そんなエピソードはありますか。

実は今月のYMCA NEWSのコラムを、どのように書けばよいかと悩んでいました。抽象的な理念や歴史の話だけでなく、もっと身近な出来事や感じたことを書いた方がいいのではないかと——そんな声をいただいたからです。

確かに!と思いつつも、この1カ月を思い返してみると、コラムになるようなエピソードを私は持ち合わせていないことに気づきました。そんなつもりではなかったのですが、毎日が慌ただしく過ぎ、立ち止まる余裕さえなかったのかもしれません。

頭の中でぐるぐるとコラムのことが回っていた、ある朝のこと。洗濯物を干していると、空の雲は夏から秋へと変わっていました。「夏の入道雲の空が一番好きだけど、秋の空も素敵だな」そんなことを思いながら、「あと1カ月もしたら干す服も変わるなあ。衣替えもしなきゃいけないな。子どもたちの服も小さくなっているかもしれないな。あつという間に今年も終わり

そうだな」と、ぼんやりしていました。

そんな秋の訪れとともに、2025年度の上半期もまた瞬間間に過ぎ去りました。笑顔にあふれた充実した毎日でしたが、あんな素敵な出来事や、こんな素晴らしい出会いに気づかないまま、過ぎてしまったのかもしれません。そう思うと、ちょっと寂しさが込み上げてきます。

これからは、食欲の秋、温もりの冬、そして別れと出会いの春——。

下半期は、忙しさに追われる日常ではなく、小さな変化や恵みに気づく豊かな毎日になりたい。そんなふうに思いました。上半期には思うように行けなかった魚釣り。下半期は、仲間を誘い、一緒に魚釣りに出かけたいと思います。

## R | E | P | O | R | T

社会貢献

## 新たな年度へ向けて YMCAフィランソロピー協会



YMCAフィランソロピー協会幹事長 熊本トヨタ自動車株式会社 鎌田公二

10月10日(金)、肥後銀行本店で、YMCAフィランソロピー協会2026年度(2025年10月～2026年9月)年次総会を実施しました。

## 第1部 総会

9企業・団体から、15名が出席し、2025年度(2024年10月～2025年9月)の事業報告や決算報告がなされました。また、事業計画を基に、大きな3つの柱を打ち出した2026年度の運営方針や予算案、協会活動の運営を担う幹事企業の選出などのすべての議案について承認されました。

## 第2部 創立30周年記念セミナー

「過去の災害に学ぶ日頃の備え～家庭・地域・企業の防災～」と題し、気象予報士・防災士の資格を有する、早田蛍さんによる講演を行い、会員企業のみならず一般も含めて約60名の参加がありました。早田さんは8月に起きた水害について、当日の気象データや熊本の地理構造の観点から解説。また、日頃からの備えとして、企業の取り組みや、地域でできること、災害発生前の効果的な情報取得の方法について紹介がなされました。参加者からは、「最新の防災情報と備えを、改めて学ぶことができた」「防災には知識と行動力が必要だと思った」等の感想が寄せられ、関心度の高い講演となりました。



第1部 総会

## 第3部 異業種交流会

中華旬彩 燕燕で開催し、15企業・団体から23名が参加しました。参加者それぞれの自己紹介の時間や席替えを行い、会の名称通りの異業種交流を促進できました。今回は会員企業だけではなく、一般参加者も多数あり、普段の業務では経験できない濃い交わりの一時となりました。ここでのつながりが「よろこびあえる未来」の創造につながるよう、協会として継続的な活動を行います。



第2部 創立30周年記念セミナー

日本語教育

## 9カ国からの新入生 YMCA学院日本語科入学式

熊本YMCA学院 日本語科  
尾道一幸

熊本YMCA学院日本語科が2025年10月期生として、中国、韓国、台湾、ベトナム、ネパール、スリランカ、ミャンマー、ベネズエラ、フィリピンの9カ国から26名の新入生を迎え、10月10日(金)、熊本YMCA本館／グローバルコミュニティセンターで入学式を行いました。式ではミャンマー出身の新入生代表が「勉強だけでなく、人とのつながりや思いやりを大切にし、先生方のご指導を守りながらがんばりま

す」と力強く決意を述べました。続いて在校生代表のネパール出身の学生が「夢や目標を忘れず、一生懸命がんばってください。新しい生活に不安があっても、私たち先輩がサポートします。一緒にがんばりましょう!」と温かいメッセージを送りました。

翌週からは授業が始まりました。新入生の健康と安全が守られ、日本での留学生活が実りあるものとなるよう、職員一同全力で支援します。なお、国の事情により入学式時点でまだ10名が入国できていませんでしたが、順次入国し、全員で36名になる予定です。



福祉

## 現場での実践に学ぶ ホームカミングデー2025

熊本YMCA学院 通信制  
須藤史朗

10月4日(土)、「ホームカミングデー2025」を熊本YMCA本館／グローバルコミュニティセンターで開催し、31名が参加しました。ホームカミングデーは、通信制の社会福祉学科と精神保健福祉学科の受講生と修了生の顔が見える縦横のネットワーク構築の場所として企画しました。

第1部では、スクールソーシャルワーカーの徳永佑美さんを講師に迎え、『学校でソーシャルワーク

をするということ』と題した講演を実施。参加者は熊本の教育現場における実践事例を通して、ソーシャルワーカーとしてのクライアントとの向き合い方や連携の重要性について深く学びました。

続く第2部の茶話会は終始和やかな雰囲気で行。各学科の先輩・後輩が、資格や職種、立場を超えてざっくばらんに語り合い、日々の仕事の大変さや楽しさを共有しました。近況報告や国家試験アドバイスなどで盛り上がり、対人援助職としての新たな「つながり」を構築する、非常に有意義な一日となりました。



# I n f o r m a t i o n

## 第10回熊本YMCA インターナショナル・チャリティーラン



■ 11月16日(日) 10:00～13:30(予定) ■ 益城町総合運動公園 陸上競技場

### コース・費用

|               |                                        |
|---------------|----------------------------------------|
| ファミリーラン       | 3,000円/1家族                             |
| グループラン(5名)    | 小中学生 5,000円/1チーム<br>高校生以上 10,000円/1チーム |
| 個人ラン          | 小中学生 1,000円<br>高校生以上 2,000円            |
| つながるラン(寄付で参加) | 2,000円/1口                              |



お申込みはWebで▲

昨年に引き続き、全国の大会実行委員長に、富田宇宙さんが就任。当日も来場予定です。なお、益金はYMCAが全国で展開する支援が必要な子どもたちのための活動に用いられます。

■ 熊本YMCA 本部事務局 Tel 096-353-6397

## 市民クリスマス2025



■ 12月6日(土) 14:00～16:00(予定) ※13:30開場

■ 日本福音ルーテル神水教会(熊本市中央区神水1-14-1)

■ 1,000円(高校生以上) ■ 出演者 坂田飛鳥さん(シンガーソングライター・作曲家)、河野里菜さん(チェリスト)、黒木真子さん(ヴァイオリニスト) ■ 特別出演 Ange briselによるハンドベル演奏 ■ 熊本YMCA学院 Tel 096-353-6393(担当:吉田)

公共交通機関でご来場ください。チケットの取扱いは熊本YMCA各施設で行っています。※益金は、令和6年能登半島地震、熊本豪雨災害支援、子どもの居場所作り活動への寄付として用いられます。

## 阿蘇カウントダウンキャンプ 2025-2026



阿蘇の自然の中で、カウントダウン、初日の出、お餅つき、焚き火、そしてシェフによる特別料理などを楽しむ「みんなでたのしくあたたかく」特別なキャンプです。

■ 2025年12月31日(水) 13:30集合～2026年1月1日(木) 14:00解散(1泊2日) ■ 年齢不問(ご家族、ご親戚、お友だち、グループ、お一人様も大歓迎) ■ 定員 8組25名程度(定員になり次第、締め切り)

■ 費 (1名あたり / 1泊2日・3食付)

・メインロッジ泊: 20,000円(税込)

・キャビン泊: 18,000円(税込)

・未就学児: 7,000円(税込)

・4歳以下: 1,000円(税込)

■ 会場・宿泊 YMCA阿蘇キャンプ(阿蘇市車帰358)(メインロッジまたはキャビン) ■ 年越しお楽しみクラフト、ネイチャープログラム、焚き火、焼き芋、焼きマシュマロ、温泉ツアー(夕食後)、こどもトランプ大会、年越しそば、極寒☆星空観察(自由参加)、カウントダウンセレモニー、初日の出、おせち料理、餅つき大会、アーチェリーなど(予定)

■ YMCA阿蘇キャンプ Tel 0967-35-0124



お申込みはWebで▶

■ 日時 ■ 会場 ■ 内容 ■ 参加費 ■ 定員 ■ 参加条件 ■ 持ち物 ■ 対象 ■ 主催 ■ 締切 ■ 申込 ■ 問合せ ■ その他

## わたしのYMCAストーリー

### YMCAに誘われて、魅せられて

熊本YMCA学院 建築科 山田 奏翔(わかめリーダー)



私は建築関係の仕事につきたいと思い、熊本YMCA学院に入学しました。建築のことを学びに来たのですが、意図せずリーダー活動に参加し、子どもたちとキャンプをしたり、ピースセミナーに行ったりして、子どもから大人、さらにはいろんな国の人たちとのつながりもできました。YMCA学院に入っすぐは、YMCAのボランティア活動などにもあまり興味がありませんでした。しかし、様々な方たちのお声かけのおかげで非常に充実した学生生活になっています。卒業後の建築実務に直接的には必要ないのかもしれないけれど、私の人生の中ではとても有意義なものになったと思っています。YMCAでの活動は楽しく、時にはたくさん考える事もありましたが、それも全て周りにいてくれた方々が支えてくれたおかげだと思っています。

※このコラムではYMCAに関わる皆さんに「みつかる。つながる。よくなっていく。」「ポジティブネットのある豊かな社会」をテーマに寄稿をいただきます。

## ワイズメンズクラブリレーコラム

### 人と会って話すことで元気になる

八代ワイズメンズクラブ 守田 のぞみ

みなさんは、どんな方法でストレスを発散したり、気分転換をしたりしていますか。美味しいものを食べる、ぐっすり眠る、趣味に没頭する——それぞれに元気を取り戻す時間があると思います。

私の場合は、本を読むことです。疲れてくると、どうしても考え方が固くなってしまいます。そんなとき、小説を読んで思いきり泣いたり、本の一文にハッとさせられたりすると、不思議と心が軽くなり、気づけば元気を取り戻しています。

実は、八代ワイズメンズクラブの毎月の例会も同じです。参加する前は少し疲れていても、卓話で刺激を受けたり、メンバーの近況を聞いたり、自分の話をしたりするうちに、いつの間にか笑顔になっています。

人と会って話すこと——それは、心にも体にも効く“元気の特効薬”なのかもしれません。

※ワイズメンズクラブ国際協会は、YMCAをサポートする世界的な奉仕団体です。

発行所／(公財)熊本YMCA  
〒860-8739 熊本市中央区段山本町4-1  
TEL 096-353-6397(代)

発行人／伊藤 真太郎 編集／熊本YMCA ICR  
定価60円 購読料は会費に含む

www.kumamoto-ymca.or.jp



公式LINE

### 熊本YMCAの使命

共に生きる社会 生涯学習の推進 ボランティア活動  
地球環境の保全 ウエルネス活動 平和な世界

### 2025年度基本聖句

何事も愛をもって行いなさい  
コリントの信徒への手紙一 16章14節